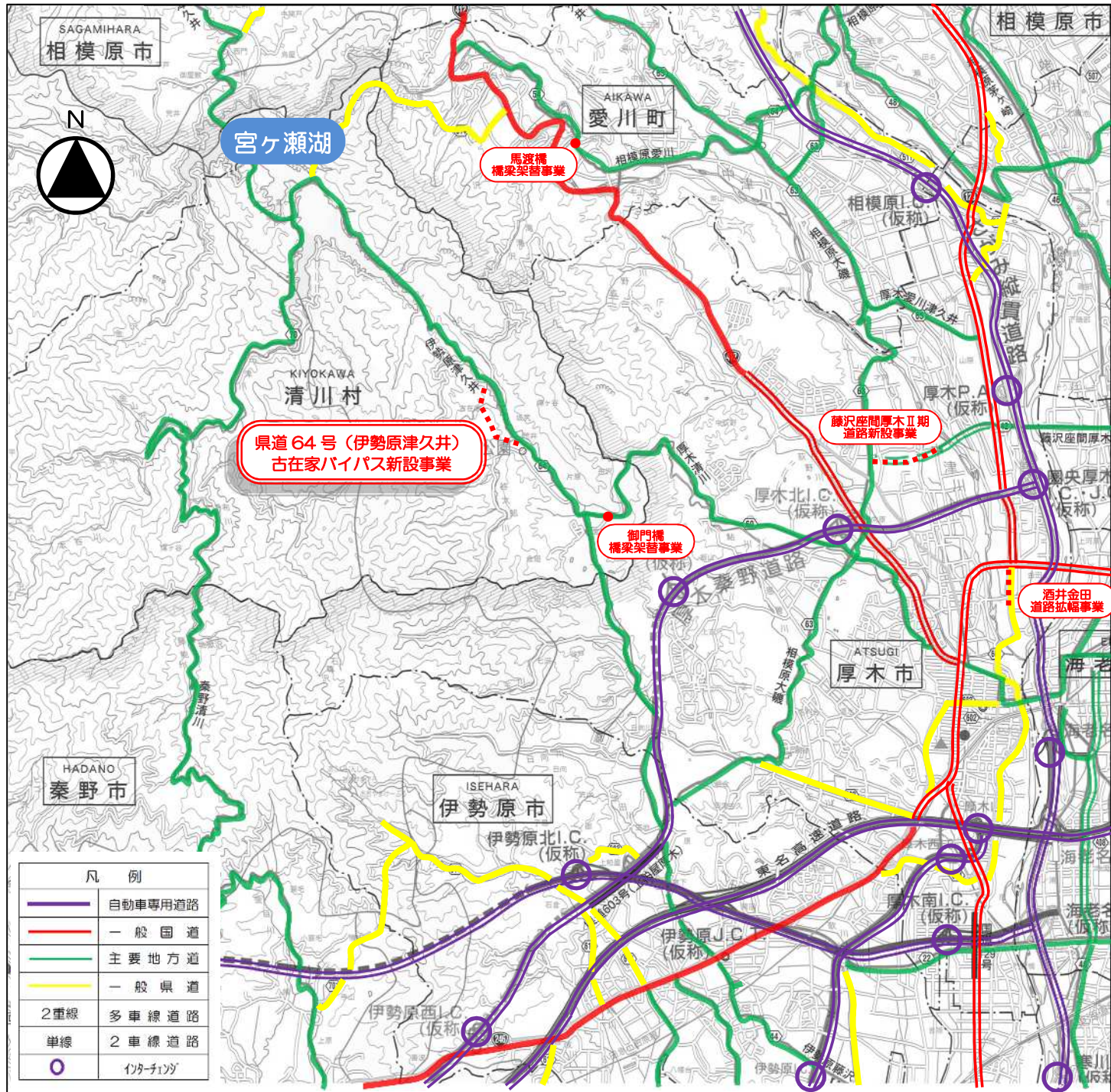


位置図



こざいけ
古在家バイパス

県道 64 号 (伊勢原津久井) 道路新設事業



地域の交流・連携を支える安全で安心な交流幹線道路網の整備

事業の目的

県道64号(伊勢原津久井)は、伊勢原市田中の国道246号を起点とし、厚木市、清川村を經由して、相模原市緑区青野原の国道413号に至る、県中央地域の主要な広域幹線道路です。

このうち、清川村では、国道や鉄道駅がない中、地域の日常生活や物流、防災、医療、観光などを支え、また、幼稚園や小中学校、病院、役場などへのアクセスを支える重要な道路となっています。

しかしながら、現在の道路は、幅員が狭い、また、カーブが多く見通しが悪い、さらに、歩道がない通学路など、交通安全上、支障をきたしている状況です。

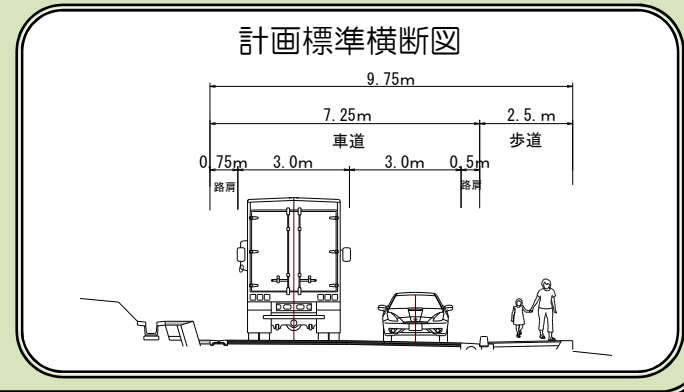
そこで、古在家バイパスを整備し、広域・地域の利便性の向上を図るとともに、現在の道路を本来の生活道路として機能の回復を図るため、平成17年度から実施しているものです。



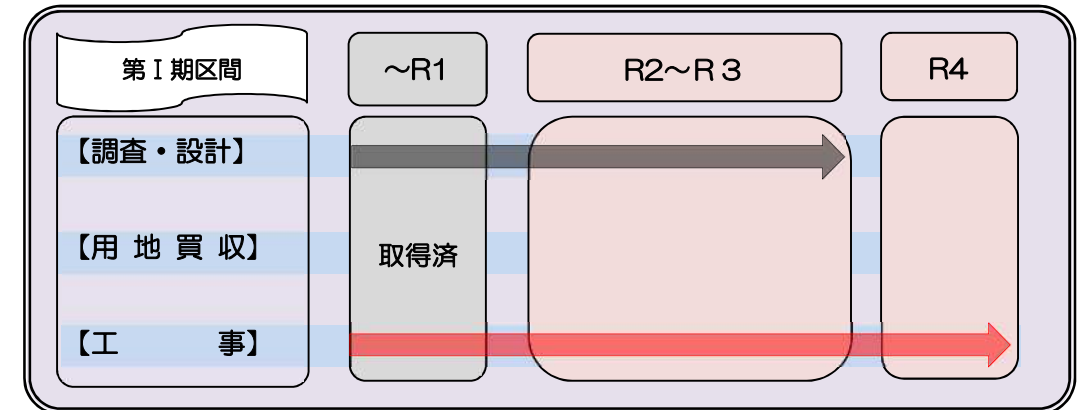
現在の道路状況

事業の概要

- 路線名 県道64号(伊勢原津久井)古在家バイパス
- 事業区間 愛甲郡 清川村 煤ヶ谷 地内
- 計画延長 L=約1,300m(進入路区間除く)
 - ・第Ⅰ期区間 L=約800m(進入路区間約300m含む)
 - ・第Ⅱ期区間 L=約800m
- 計画幅員 W=9.75m(車道W=3.0m×2、歩道W=2.5m)
- 道路区分 第3種第3級
- 設計速度 40km/h
- 供用目標 令和4年度(第Ⅰ期整備区間)



事業の工程



平面図

